

---

プロジェクト      リース

項目                      第 519 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

---

### 本資料の目的

1. 本資料では、第 519 回企業会計基準委員会（2024 年 2 月 5 日開催）の審議で聞かれた主な意見をまとめている。

### 貸手の基本となる会計処理（会計処理の検討）

2. 金融取引の性格が強い場合のリースについては事務局分析のとおりリース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法（以下「第 2 法」という。）を認めつづけることの理由がない点については違和感がないと感ずるため、第 2 法を廃止する方向性に異論はない。
3. 第 2 法を廃止する事務局提案に基本的に同意する。売上高にファイナンス・リースとオペレーティング・リースが合算されて表示されてしまうことへの懸念については企業会計基準第 29 号「収益認識に関する会計基準」により総額で計上される取引と純額で計上される取引が合算されて表示されることと同様であり、必要に応じて自主的な開示で対応できると考える。

### 貸手の基本となる会計処理（文案の検討）

4. 修正案により読みやすさは改善されるが用語を変えることによる意図しない影響が生じることもあり得るため、なるべく本公開草案の表現を変更せず修文を行う方が良いと考える。

以 上